

新年あけましておめでとうございます。

例年より暖冬傾向の札幌ですが日が暮れると寒さを感じます。さて、2月開催の『さっぽろ雪まつり』ですが、コロナの感染拡大の影響を受け、残念ながら中止となることが発表されました。

しかし、現在市内複数箇所で『さっぽろホワイトイルミネーション』が実施され、毎日16:30~22:00まで様々な色のイルミネーションを楽しむことができます。例年は12月25日で終了でしたが、今回は会場によって2月12日まで、または3月14日まで延長されました(大通会場は、一部イルミネーションを2月12日まで継続して設置)。主な会場は札幌駅前通り・赤れんが旧庁舎・大通り公園1丁目~6丁目です。

私は昨年、3ヶ所のイルミネーションを見て来ましたが、特別情報としてさっぽろテレビ塔の展望台地上90mから見る事をお勧め致します。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

新年明けましておめでとうございます。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は三重県いなべ市の桐林館喫茶室を紹介いたします。この喫茶室は、古い建物を利用したノスタルジックな喫茶室です。

昭和12年に阿下喜村(現いなべ市北勢町阿下喜)の尋常小学校の校舎として建設された建物を利用しています。昭和56年の小学校移転時に建物保存の要望を受け、3列あった校舎の内、玄関ポーチのある校舎の一部が敷地内に移転保存されました。また石造りの校門や石柵と合わせて国登録有形文化財になっています。(戦前の古い校舎ですね。今となっては都会ではなかなか見かけないですね)

その戦前の木造校舎の元職員室が『筆談カフェ』という、音声のない会話を楽しむ空間になっています。(BGMもありません。)

喫茶室内には障がいを持つアーティストの美術作品が展示されており、その中であえて会話することを封印して筆談で障がいを体験する意味もあるようです。(現在のコロナ禍には、適した空間とも言えますが...)

皆さんも筆談の喫茶室と古い校舎を体験してみたいはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)



世界の拠点から

-From the base in the world-



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、2021年もコロナに振り回された1年となりましたが、続いて2022年でもオミクロンという新たな株とデルタ株とが合体した混合変異株デルタクロンという、また新たな脅威が生まれようとしています。今年に入り東京都では1日あたりの感染者数が1万人を超えるようになり、現に都内病床使用率が20%を越えたことでまん延防止等重点措置が適用されました。これが50%を超えると昨年同様に緊急事態宣言が発令されることとなります。

感染拡大に備えるべくワクチン接種や検査治療薬の普及などで発見から早期治療までを強化するとなっているので、日々の生活および出勤、職場での在り方などもガイドラインに沿って取り組み、感染予防に十分配慮しなければと思います。全国主要都市のみならず地方各地でも感染拡大している中ですので、皆さまくれぐれもご自愛くださいませ。

では、2022年の年の始まりに、関東圏内の交通機能が停止した積雪10cm以上の大雪に見舞われた際の職場の画像をお送りいたします。あらためまして本年もよろしくお願いいたします。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

あけましておめでとうございます。

昨年12月頭は、コロナも一旦落ち着き、クリスマスシーズンの梅田界限は活気に溢れておりました。

大阪駅前第四ビルの宝くじ売り場に買いに行くと、近年見たことが無い行列が出来ておりました。第四ビルと第三ビルをぐるっと回って目測500m以上の行列。警備員さんの話では1時間半以上はかかるとの事で断念。土曜の大安吉日だけではここまで並ばないのではと思い調べてみると、土曜、大安、一粒万倍日、コロナ減少(?)が重なって非常に長い行列になった模様。夕方暗くなってから再度チャレンジ。まだ人はかなりいましたが20分ほどで購入完了。

夕方はイルミネーションが御堂筋にかけて非常にキレイでした。一昨年は見られなかったので2年ぶりのイルミネーション。夕方に行き直してよかったと思いました。

年明けからオミクロン株の感染が急速に拡大していますので、今後も感染予防に注意しながら行動していきたいと思っております。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。さて、今回は、以前感染が落ち着いていたところお邪魔した福岡・柳川の名物料理『うなぎのせいろ蒸し』をご紹介します。

お店の名前は『元祖日の出屋』さんです。場所は柳川への入り口とも言える幹線道路沿いにある創業100年の老舗のうなぎ料理店です。ここ日の出屋さんでは、鹿児島・宮崎産の良質なうなぎのみを使用し、タレに関しても時代に合わせて研究を重ね、伝統を残しながらも少しずつ変化させているとのこと。そのとき頂いたのは『うなぎのせいろ蒸し定食(並)』。せいろ蒸しと肝吸い、お漬物のセットです。肉厚のうなぎはふっくらとやわらかく、表面の香ばしい焼き目が綺麗です。またうなぎの旨味が溶け込んだ甘めのタレがごはんにしっかりと染みており、車で来ていなければビールで流し込みたいところ(笑)。肝吸いもクセがなく美味しく、追加で『うざく』も注文してうなぎ尽くしを満喫できた昼食でした。

他、柳川市内にはたくさんのせいろ蒸し屋さんがあります。お店によって、色々と特色を出して営業をされているようなので、また機会があれば違うお店で食したいとも思いました。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

インドネシアは赤道直下の国です。熱帯地域で、年平均気温は33℃ぐらいです。気温が高いのは7、8月、ちょうど日本の真夏の時期。40℃近くまであがることもあります。夏は平均36、37℃です。季節は乾季と雨季があり、乾季は4月～9月、雨季は10月～3月。

一年中太陽がたっぷり照らされている国なので色々な果物を得ることができます。中でも10月～2月のちょうど雨の多い時期には色々な果物が収穫されます。その中で一番好き嫌いが分かれる果物は、ドリアン。『果物の王様』とも言われています。味と匂いが激しく、好きな人はたまらなくてどんどん食べてしまいますが、嫌いな人はその匂いだけで吐き気を感じます。

私の家族はみんなドリアンが大好きです。先週、ドリアンを二つ買いました。家族でガブガブ食べてとても美味しかったです。味はとても甘く、私はいつも甘さを緩和するのに、ドリアンを食べながら苦いコーヒーを飲んでます。二つのドリアンは一気に食べられず、三日間ほどかけ食べ終わりました。

値段はピンキリで、それなりのものであれば大体RP.200,000～300,000ぐらい(約2,000円ちょっとです)。

インドネシアに来られた際は、一度果物の王様ドリアンを食べられると一生忘れられない経験になると思います。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～上から下まで全部～

新年明けましておめでとうございます。

2022年の年明け、私は今年も蘇州で新年を迎えました。ご存じのとおり、中国では陰暦での春節が一年でもっとも大切な祝日であり、新しい年の始まりです。春節の一か月くらい前からスーパーやデパートの店内は赤、赤、赤。真っ赤な春節飾りがずらりと並びます。門松やしめ縄、鏡餅などの日本風の正月飾りとは少々雰囲気異なります。中国は赤い色がおめでたいとされ、新年の主役です。

今年寅年。日本では年男・年女は自分の干支がその年のシンボルであり、全体的に縁起がよいととらえられています。一方、中国ではやや趣が異なり、逆に縁起の悪い年、日本の厄年のような意味合いがあるのです。そこで、年男、年女は厄災から身を守るために赤いものを身につけるとよいとされています。この時期のスーパーの下着売り場は真っ赤な下着の大売り出しとなります。上から下まで全部赤！こだわり派は下着のみならず、靴下、ベルトからアクセサリまで赤で固める人、或いは年中赤いパンツで通す人も中にはいるそうです。下着はちょっと・・・という人は携帯ケースやアクセサリ、普段身につけるものどこかに赤を取り入れて一年の幸運、成功を祈願します。

私は年男ではありませんが、今年真っ赤なパンツを履いて縁起担ぎをしてみます。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

2022年ですね。早いものでコロナ禍になってもう2年になります。失われた2年と言うよりも色々な事が起こった2年だったのではないのでしょうか!今年こそはマスク無しの生活ができるようになりたいですね!

新年のご挨拶と言え日本では年賀状ですが、私は海外生活が長いので日本の最近の事情はよく分かりません。今でも普通に続いているのでしょうか?少し前までは年末になると年賀状を作って印刷するプリンターなどのCMが流れ、色々な商品が流行ったりしましたが、今では携帯で撮った写真などが主流なのでしょう???

アメリカでは勿論年賀状を送るといった習慣はありませんが、それに近いのがクリスマス・カードです。個人もそうですが、企業やあらゆる団体が顧客、取引先、提携先などにシーズンになると送り合います。

伝統的に社内にクリスマスツリーなどの飾り付けを行うことが多いのですが、このクリスマス・カードもそれぞれの机の上や棚などの上に飾ることがホリデーシーズンの風物詩となっています。

しかし、この習慣がここ最近で急変しています。勿論コロナによる影響も多々ありますが、一番の理由は世の中のデジタル化によるものです。実際アメリカではリモートワークを実施しているところが多く、会社自体に人がいない状況も多くあるのでクリスマス・カードもE-mailで送られてきたり、親しい人達からはSNSや他のアプリを使って送られてきたりします。何となく寂しく感じますが、色々な効率化を考えると当然の流れのような気がします。

これから時代は益々デジタル化などのテクノロジーが発展していくでしょう。我々はどう考え行動していけば良いのかを問われる時代にいるのだと感じます。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

明けましておめでとうございます。

本年も、健康で安定したビジネスが続けられることを願っています。

シンガポールでは多くのガーデンで頻繁にオオトカゲを見かけます。オオトカゲは非常に遅いカメのような動きで、目の前に人を見つけると方向を変えます。ほとんどが体長1mほど(尻尾を含む)ですが、1.5mの大きなものが見られることもあります。以前遭遇し、正面2mほどの距離で写真を撮ると、すぐに向きを変えて反対方向へ逃げていきました。オオトカゲは恥ずかしがり屋ですが、刺激してはいけません。でないと、噛んで反撃されることがあります。

自然は一瞬で心の悩みを取り去ってくれる恵のようなものです。自然を楽しみ、他の動物と触れ合うことはとても良いことです。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

2021年のスポーツの歴史的瞬間を振り返ります。F1を見ていたオランダ人の大多数はアブダビGPIに自信を持っていませんでした。スタートから、ルイス・ハミルトンのペースでしたが、レースは別の局面を迎えました。

フェルスタッペンが世界タイトルを獲得するためにチームの戦略と、チームメイトのディフェンスが貢献したことを忘れてはいけません。しかし、追い越しを可能にしたのはクラッシュによってセーフティーカーが入ったこと。神経が擦り減る最終ラップで、ハミルトンをパスし、F1史上初のオランダ人チャンピオンになりました。

その日は相手の車の方がいい出来だったので、批判もあるかもしれませんが、運が必要な場合もあります。私はすでに3月から始まるF1シーズンに興奮しています。

現実に戻ると、オランダでは新型コロナの感染者数が急増しています。前向きなニュースとしては、2021年6月以来ICU占有率が最も減少しました。ただし、専門家は、この数値は再び上昇すると予想しています。

本来、予防接種を受けた人は、保護され、安全でなければなりません。しかし実際には、ワクチン接種した方でも感染する恐れがあります。3回目はブースター接種です。次のステップは何でしょう?生涯接種?終わりのない恐ろしい未来を持った物語になるでしょう。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)